

2019年11月8日

現役経営者が学生ベンチャーに投資します！

～流通科学大学にて「第6回 流科大版 マネーの虎」開催～

1. 趣旨

将来起業や事業実現を目指す学生たちが、自身の持つアイデアをプレゼンテーションします。現役の経営者から直接、アドバイスや評価を受けることで、将来の起業、事業化に向けて必要なノウハウ・考え方を学び、優秀な提案・アイデアについては、審査員が投資家となり、事業化に向けて具体的な出資・投資を獲得することができます。今回、事業化を目指す5名の学生の発表会を開催いたします。

2. 概要

【開催日】 2019年11月15日（金）14：00～17：00

【指導教員】 中内 潤（学校法人中内学園 流通科学大学 理事長 兼 学長）

【審査員】 企業経営者（7名予定）

【発表者】 5名予定（流通科学大学の起業・ベンチャー型事業承継者育成プログラムに所属）

学年	性別	事業案概要
1年生	男	実家の事業の徳島県内すべての電柱の所有権を所持している部分を生かして新しいビジネス（QRコードを使った広告宣伝等）を提案していきたい。
1年生	男	日本の農業は今、大きな変換期を迎えています。従来に考えられていた農業に新しい革命を起こす提案をします。
2年生	女	もっと留学生や外国人就労者が住みやすい国を作ること、それが私の夢である。昨今、ビザの規制緩和もあり、ますます外国人学生や就労者が増えている。まずは彼らの定住までにフォーカスをあて、小さなトラブルを解決できるサービスを提案するビジネスがしたい。例えばアプリを使ってその国の言語でサービス（銀行口座を作る、アルバイト先を見つける等）、コンテンツは徐々に項目を増やしていく。収入は企業広告で賄うことを考える。
2年生	女	実家が鉄板料理屋さんをしています。私も個人で、缶詰&焼酎専門の居酒屋をしたいと思っています。
2年生	男	AIなどが進化する世の中の中で事業（クリーニング業）を拡大するために社会問題にもなっている老人の方の孤独死という問題を少しでも解決するために新しいシステムを導入したい。

3. ご参考

① 起業・ベンチャー型事業承継者育成プログラム

家業を継ぐ見込みのある学生や起業を目標とする学生を対象にビジネスリーダーを育成します。起業にとどまらず、新しい企画や提案を実現、実践できる起業家精神を持った人材の輩出を目指しています。在学中から、学外の起業・事業承継経験者や経営者から直接ノウハウや考え方などを学ぶことができます。

② 「流科大版マネーの虎」から誕生した起業学生の紹介

(1) 丸山いつ季さん（人間社会学部3年生）は、自分の淹れるコーヒーを味わってもらえるカフェを起業したい！という思いから当プログラムに参加。第4回マネーの虎で出資金を獲得し、2019年3月「cup of talk coffee LLC」を設立。学内にてカフェを経営しながら新商品を開発し、学外の様々なイベントに出店。

(2) 実家が愛媛県で苺農家を営む白木雛世さん（商学部3年生）は、当プログラムの第4回マネーの虎にて選考通過。実家の苺を「iChi-HiME」としてブランド化し、「洋菓子ぎをんさかい」様とiChi-HiMEを使用したケーキ「苺のフレジェ」を商品化。2019年6月「ストロベリームーン（満月）」の日に合同会社「月苺（つきいち）」を設立。

③ 上記2名の起業学生が本学学園祭「りゅうか祭」に出店します。

丸山さんのコーヒーは、コラボメニューも試作・開発中です。

りゅうか祭 開催日：2019年11月16日（土）、17日（日）

場 所：流通科学大学（神戸市西区）



□ 広報活動全般に関するお問合せ先 流通科学大学 広報室（船引・津田）

〒651-2188 神戸市西区学園西町3-1 TEL078-794-3555（代） ・ FAX078-794-3510

公式サイト <http://www.umds.ac.jp/> Eメール Ryuka_koho-1@red.umds.ac.jp